

プレスリリース 2007 年 12 月 19 日

東海テレビ放送

50 周年社長会見

《はじめに》

当社は来年、記念すべき開局 50 周年を迎えます。この節目の年に、これまでご支援をいただいた視聴者のみなさまに感謝を伝えるとともに、次の半世紀に向けた新たな一步を踏み出す決意です。

まず、局の顔であるキャラクターを一新します。現在の「ヤッパくん」は 1997 年に名古屋の放送局としては初めてのキャラクターとして誕生しました。当時は、全国的にもまだ局キャラクター自体が珍しい環境であったことも手伝い、「やっぱイチバン東海テレビ」のキャッチコピーとともに視聴者に親しみを持って受け入れられました。その後も、弟の「モットくん」を登場させるなどの話題を提供し、安定した人気を保ってきました。しかし、局キャラクターの寿命は通常 3 ~ 5 年と言われる中、次第に存在感が薄れていきました。このような状況を踏まえ、開局 50 周年を迎える 2008 年に、未来に向けた東海テレビのメッセージを視聴者にとってよりわかりやすい形で伝える手法として、新キャラクターを開発しました。

開局 50 周年の記念期間は 2008 年 1 月から 2009 年 3 月末までの 1 年 3 ヶ月間です。この期間中に、特別番組やさまざまなイベント・催事を実施していく予定です。それとともに自社制作比率のアップとレギュラー番組の内容を強化することで、目標とする「自社コンテンツの総合力 No.1」を達成したいと思います。

【50周年を迎えるにあたっての基本的な考え方】

当社は1958年12月25日に本放送を開始しました。視聴率は82年から97年まで16年連続で年間三冠に輝きました。その後2004年に年間三冠に再び返り咲き、今年も含めて4年連続を達成できる見通しです。これは当社の基本コンセプトである「愛され信頼されるテレビ局を目指す」姿勢が受け入れられた結果と自負しています。

地域の人たちとの結びつきを大切にした番組「西川きよしのご縁です！」や「発見！わくわくMY TOWN」は安定した視聴率を維持。多くの方から支持される魅力的な番組作りをすることで、地域の視聴者のみなさまから“愛され”ているとの実感も得ています。

また、より“信頼される”テレビ局であり続けるために、報道体制の強化にも取り組んでまいりました。夕方5時30分からの「スーパーニュース」は今年に入ってから11月末までの平均視聴率で、NHKを含めた名古屋地区のすべての放送局の中でトップとなっています。加えて、土曜日の午前中に放送している報道情報番組「スーパーサタデー」も先月3日には視聴率10%を超えるなど、安定した支持をいただいている。さらに、昨年秋から日曜日の情報番組「スタイルプラス」をスタートさせたことにより、月曜から日曜まで毎日、生放送枠を確保しています。災害などの緊急事態に迅速に対応し、必要な情報をどこよりも早くみなさまにお伝えする体制を整えることで、「何かあったら東海テレビ」という信頼感を醸成できたという手ごたえを感じています。

50周年の節目を迎えるにあたっても、この「愛され信頼されるテレビ局」という方針を堅持いたしますが、来年はさらにもうひとつ、未来に向けた新しいコンセプトを設けたいと思います。

それは「つたえる つなぐ」です。デジタル化の進展に伴い、インターネットの普及や携帯サイトの充実、そしてテレビのデジタル化によるデータ放送など、情報社会は飛躍的な拡大を続けています。反面、“闇サイト”や“出会い系サイト”など、匿名性の高い情報サイトが犯罪の温床となったり、メールを使つたいじめが横行するなど、人と人とのつながりが希薄になっているとの声はますます大きくなっています。東海テレビでは、テレビが持つ本来の役割をあらためて考えました。単に大量の情報を一方的に流すのではなく、視聴者の目線に立った有用な情報を正確に伝えることで、社会と視聴者をつなぎ、さらにそこから人と人とのつなぐ テレビには、そんな役割が求められていると考えました。テレビだからこそできる、テレビにしかできない「人と人とのつながりの大切さ」を、未来に向けて伝えていきたいと思っています。

【新キャラクター】

＜プロフィール＞

名 前 わんだほ

生 ま れ 2008年1月1日 東海テレビ内にて発見。

特 徴 「1」の形のフシギな生き物。

モコモコしてて、自由自在に形を変えます。

必要なときだけ、手足も生えてくるらしい。

コトバ 人間のコトバを習得中？

最初に覚えたコトバは「わんだほ！」

ヒミツ 実は、仲間が無数にいるらしい。



わんだほ

＜形と色 「わんだほ」の持つメッセージ＞

「わんだほ」は“雲”をイメージした不思議な生き物です。数字の「1」を原型として、いろいろな形に変化することができます。これは開局50周年を迎えた東海テレビの、新たな半世紀に向けての決意と意志を形で表わしたもので、既存の価値観や概念にとらわれることなく、柔軟にそして臨機応変に、新しいことに挑戦する決意。視聴者と同じ目線で時流を敏感に感じ取りながら、さらにその一步先の番組作りを目指します。

「わんだほ」の白には、“何ものにも染まらず原点に帰る”という基本メッセージが込められています。ただ、いつも変わらぬ白ではなく、怒ると“赤”になったり、恋をして“ピンク”になったりと、色が変化することもあります。これは、ひとつの価値観や方法論に固執することなく、多様な感性を取り入れた番組制作を心がける意志を表現しています。

また、ふわふわとした柔らかい体は“心地よさ”をイメージ。“親しみやすさ”を感じとつてもらいたいと考えました。

＜名前の由来＞

名前は英語の「Wonderful」が原点です。番組を通して『ちょっとした“ワンダフル”をお届けしたい』というメッセージがこめられています。語尾を“ほ”にすることで、なんとなく“ほっ”とするやわらか

いいイメージと、ひらがな表記でやさしさを表現しました。

また、“不思議な生き物”であるということで「Wonder(不思議な)」、そして 1 チャンネルの“1(One)”の意味も含まれています。ちょっとワクワクしたり、なんなくホッとする そんな気持ち「わんだほ」を番組やイベントを通じてお届けし「つたえる つなぐ」を実践していきたいと思います。

【記念特別番組】

番組名：「西川きよしのご縁です！2008 大笑いなお正月スペシャル飛騨路

～大家族と一緒にガハハと元気に笑い飛ばそう！～」

放送日時：2008 年 1 月 1 日(火・祝) 13:15 ~ 14:55

放送形式：VTR 構成 HD 制作

出演者：西川きよし 今いくよ・くるよ、西川ヘレン、西川かの子、月亭八方、板尾創路

五木ひろし(特別ゲスト)

企画意図：開局 50 周年の記念期間がスタートするまさに初日である元日に、当社制作の看板番組「西川きよしのご縁です！」のスペシャル版を放送します。「ご縁です」は放送開始から 3 年半が経ち、地域の人々と西川さんの出会い、そして心の触れ合いで視聴者のみなさまからも強い支持を得ています。今回は「大笑いなお正月スペシャル飛騨路」のタイトルのとおり、西川さん夫妻と娘のかの子さんに加え、特別ゲストの五木ひろしさんらが飛騨高山でのオールロケを敢行しました。初めての人々との出会いを大切にしてきた西川さんが番組を通じて感じた“家族の大切さ”をテーマにした旅です。この番組で来年 1 年が元気な年になってほしいとの願いを込めてお送りします。

番組内容：2007 年も、多くの出会いがありました。街角で出会う人々と、とことん語り合う西川きよし。時には涙もありました。そんななかで、1 年かけて番組内でゆっくりと育っていった大切なテーマがあります。それは家族です。あまりにも当たり前なことですが、それが当たり前と思えない時代だからこそ、正面切って「家族っていいなあ！」と言えるテーマでやります！お正月からこの番組を見て、もっともっと元気になっていただけます！これから 1 年、よい年でありますように…。たくさんの家族の笑い声を、視聴者の皆様へお届けします！

番組名：「新春スペシャル・ドラマ となりのクレーマー」

放送日時：2008年1月6日（日） 16：05～17：20

原案：「となりのクレーマー」 関根眞一著（中公新書ラクレ 刊）

出演者：筧利夫 ほか

企画意図：この番組ではある百貨店のお客様相談室長とクレーマーとの奮闘を描きます。

クレーマーとは企業や病院・学校などで快楽として相手を困らせようとしている人や、大きく常識を逸脱し意見する人、詐欺行為に近い行動で金品を求める人のことです。ここまでひどくなくとも、現代社会においては“モンスターべアレンツ”と呼ばれる保護者など、“自分さえよければいい”“相手の立場を考えられない”風潮が大いに感じられます。この番組では相談室長の「人と人だからこそ、いつかは分かり合える」という信念と、相手の心理を思いやりながらのコミュニケーションを通して、「現代の人間関係」のあり方に新たな視点を投じようとするものです。

人ととのつながりの大切さを、あらためて考えてもらう番組です。

番組内容：『この毛皮は2年前に買ったのですが、昨日洋服ダンスから出したら虫に食われていました。何故こうなったのか説明のうえ、返金か交換をしてください』

百貨店に理不尽な要求を突きつける、上品そうな女性。彼女はいわゆるクレーマーです。そのクレーマーに対応するのが、言葉は丁寧だが時に毅然として対応するお客様相談係です。原案は、大手百貨店のお客様相談室長を経験した苦情処理のプロが、1300件以上の対応をした体験とそこから得た知見から、相手心理の奥底まで読んで交渉する術を伝授するベストセラー新書。そのえりぬきのエピソードをベースにドラマは展開していきます。

イチャモンや無理難題からはじまり、誠意を見せろとの要求、詐欺師、ヤクザなどなど、次々に登場するクレーマーとのはははらするバトルの数々。このドラマは、相談室長の人生模様を通じて、現代を生きる人間のこわさ、哀しさ、おかしさを描いた作品です。

個人の主張が是とされる今の世の中、どこにでもいるのがクレーマー、誰もがなりうるのがクレーマー。対応を間違えれば経営や評判に影響が出るのは必至ですが、相談室長の姿勢は、苦情やクレーマーを非難し排除するものではありません。「人と人だからこそ、いつかは分かり合える」。相手の心理を思いやりながらコミュニケーションを図る姿勢は、「現代の人間関係」のあり方に新たなヒントを与えてくれます。

番組名：「LIFE IS BEAUTIFUL～いのちがおしえてくれること～」(仮)

放送日時：2008年2月3日(日) 16:05～17:20

企画意図：生と死。果たして何人の人が、この2つの瞬間を自分の目で捉え、わがこととして感じたことがあるでしょうか。幼児虐待や親子間・親族間での殺人、わずかな金品を奪うための殺人を前提とした強盗、自殺サイトを悪用した快楽殺人。このような簡単に人を殺してしまう事件を最近よく耳にします。一体、なぜか？ その答えはひとつではありませんが、“生”や“死”が真に身近なものではなくなってしまったことに大きな原因があるようにも思えます。

「LIFE IS BEAUTIFUL」は、追いつめられ、選択を迫られた親たちの現実を通して“生”と“死”に向き合い、いのちの今を正直に伝える番組です。

番組内容：「この命の先には何が待っているのだろう」。家族の生活の全てを背負い、ジャパニーズドリームを夢見た一人の女性がフィリピンにいました。アンナリサ、25歳。日本人男性と結婚し、その夢は叶ったように見えました。しかしその結婚生活は瞬く間に破綻し、彼女に残されたのは185円という日本円と、お腹に宿った新しい命だけ。それでも家族はアンナリサをあてにして、誰も働くとはしない…。絶望と孤独の果てに迎えた出産。新しい命は、息をしていませんでした。親子には、これからどんな運命が待ち受けているのか。

「産むべきか、産まざるべきか」。世界中を震撼させたチェルノブイリ原発事故から21年。当時は放射能という言葉すら知らなかった子供たちは成人し、新しい命を生み出す世代となりました。そんなある若夫婦に襲い掛かる「負の連鎖」。幼少期に被爆した女性の体内には放射能が残り、“子宮内曝露”という形で遺伝子が子供に受け継がれてしまいました。障害を持って産まれて来る可能性は、80%強。夫婦はどんな選択をするのか？

生まれてくる命は、場所も、時も、親も、そして運命も選べません。いまこの時も、世界中で新しい命が誕生しています。でも、“いのち”は、いつでもどこでも美しい。いまこの時の“いのち”的真実を見つめ、もう一度“いのち”について考えてみませんか。21世紀を担う新しい命のために、“いま、私たちに何が出来るのか？”と。

【記念催事】

イベント名：「日興AM ジャパンスーパーチャレンジ2008」

実 施 日：2008年1月11日（金）

場 所：日本ガイシアリーナ

番 組 名：日興AM ジャパンスーパーチャレンジ2008

氷上のアーティスト・夢のチーム対抗戦！

放 送 日：2008年1月12日（土）

出 場 選 手：安藤美姫、浅田真央、浅田舞、中野友加里

（予定） 高橋大輔、小塚崇彦、中庭健介、南里康晴

2007 男女ジュニアチャンピオンほか総勢14名

ゲストスケーター：荒川静香（トリノ五輪金メダリスト）

エフゲニー・プルシェンコ（トリノ五輪金メダリスト）

イリヤ・クーリック（長野五輪金メダリスト）ほか

競 技 内 容：14名のフィギュアスケーターを2チームに分けての団体戦。

（チーム分けは、年末の全日本フィギュア選手権の成績によって行う）

各チーム7選手がそれぞれ演技を行い、演技が全て終了してから採点を行う。

採点は、どちらのチームが会場を盛り上げたかを競うもので、観客のボタン押しと、特別審査員の合計点による。

第2部として荒川静香、エフゲニー・プルシェンコほか、外国人ゲスト・スケーター数名が演技を披露。

企 画 内 容：その美しさで多くの観客を魅了するフィギュアスケート。なかでも選手の個性が発揮される「エキシビション」は、エンターテイメント性に優れ、たくさんの人の心を引き付けます。豪快なジャンプや高速スピン、さらに曲調にあわせた優雅な舞や、洗練されたステップなどは競技会で演じられるものと同じ。それに加えて、小道具を使うなど、凝った演出もふんだんに盛り込まれ、よりエンターテイメント性が高くなるのがエキシビションです。

この大会はそのエキシビションの団体戦で、チームを2つに分けて技を競い合うことで、会場との一体感を作り上げていく新しいイベントです。順位を競う通常の競技とは趣を異にし、よりエンターテイメント性を追求した大会となっています。演じる側も観る側もフィギュアスケート本来の楽しさを満喫することができる、華

やかな舞台をお楽しみください。

この大会は今年1月に第一回大会が長野で開催されましたが、浅田真央選手が愛犬エアロとともにリンクに登場したシーンが全国ニュースで取り上げられるほど話題になりました。2回目となる2008年の会場は、待望の名古屋。浅田真央選手や安藤美姫選手ら地元出身の人気選手たちの華麗な演技が観客を魅了することは間違ひありません。

イベント名：劇団四季創立55周年記念、東海テレビ放送開局50周年記念

『マンマ・ミーア！』

開催期間：2008年2月26日（火）～ ロングラン

会場：新名古屋ミュージカル劇場

主催：劇団四季、中日新聞社、東海テレビ放送

協賛：積水ハウス

イベント内容：「マンマ・ミーア！」は1999年4月、「ABBA デビュー25周年」で盛り上がるロンドンで開幕しました。世代を超えて愛されるABBAの懐かしいヒット曲をたくみに生かしたステージに観客は熱狂。チケットセールスはロンドン史上最高を記録、2005年5月カナダで、同11月には全米ツアースタート。ブロードウェイで現在もロングランを続けています。

1970年代の女の子が抱いていた夢や希望と、1990年代の女の子の夢や希望を、母と娘という2世代の女性を通して描いたロマンチックコメディです。人生には必ずしも男は必要でないという未婚の母ドナと、結婚式を挙げて普通の幸せな暮らしを夢いている20歳の娘ソフィーの対照的な二人が、ストーリー性のあるABBAの楽曲にのせて描かれています。

以上